

令和元年五月投句

登校路踊子草の曲がり角

遺産とは成りし廃坑忍冬

ハイウェイの風向示す鯉のぼり

節子

サンダルを値切りし頃も街薄暑

真理子

川岸に観覧席も祭客

嫁となる我を迎えし祭の夜

川渡る水道管に蔦若葉

つばくらめ平家滅びし渦を飛ぶ

初恋の芥子粒ほどや祭の夜

勝利

筑豊や川に神輿の二基荒ぶ

由紀子

忍冬の花の香ゆらと宵の縁

すいかずら古墳壁画の謎多し

散りかかるもの散り尽くし青嵐

母の日や長きおしゃべりいつになく

光子

リハビリの二人三脚樟若葉